

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公開番号】特開2007-226942(P2007-226942A)

【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2007-8412(P2007-8412)

【国際特許分類】

G 11 B 20/18 (2006.01)

【F I】

G 11 B 20/18 501 B

G 11 B 20/18 572 B

G 11 B 20/18 572 F

G 11 B 20/18 522 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月12日(2010.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハードディスクを制御するハードディスクコントローラ(HDC)モジュールと、

読み出しバス及び書き込みバスを介して前記HDCモジュールと通信すると共に、前記書き込みバスを前記読み出しバスに選択的にループバックするループバック回路を有し、前記HDCモジュールが前記書き込みバスにデータを書き込むための書き込みクロックを生成し、前記HDCモジュールが前記読み出しバスの前記データを読み出すための読み出しクロックを生成する読み出しチャネル(RC)デバイスと、を備え、

前記書き込みクロックは、前記読み出しクロックから独立しているシステム。

【請求項2】

前記RCデバイスは、前記ループバック回路を起動させる制御モジュールを有する請求項1記載のシステム。

【請求項3】

前記RCデバイスは、固定RCタイムベースに基づいて前記書き込みクロックを生成する請求項1記載のシステム。

【請求項4】

前記RCデバイスは、回復チャネルクロックに基づいて前記書き込みクロックを生成する請求項1記載のシステム。

【請求項5】

前記RCデバイスは、固定RCタイムベース及び回復チャネルクロックの一方を分割することによって、前記書き込みクロックを生成する書き込みクロックジェネレータモジュールを備える請求項1記載のシステム。

【請求項6】

前記RCデバイスは、前記書き込みクロックジェネレータモジュールのストレッ칭ング及びリフェイズの機能を実行不可能にするクロック制御モジュールを備える請求項5記載のシステム。

【請求項7】

前記 R C デバイスは、前記書込みクロックを生成するために前記固定 R C タイムベース及び前記回復チャネルクロックの一方を前記書込みクロックジェネレータモジュールが選択した後に、前記固定 R C タイムベース及び前記回復チャネルクロックの間のスイッチを実行不可能にするクロック制御モジュールを備える請求項 5 記載のシステム。

【請求項 8】

前記 H D C モジュールは第 1 のダイ上に組み立てられ、前記 R C デバイスは第 2 のダイ上に組み立てられている請求項 1 記載のシステム。

【請求項 9】

前記 H D C モジュール及び前記 R C デバイスは、共通のダイ上に組み立てられている請求項 1 記載のシステム。